



### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	928	研修講師に対する謝金
旅費	348	研修講師にかかる旅費、職員の業務旅費
需用費	288	研修の教材にかかる消耗品費
役務費	61	研修受講決定通知の発送等にかかる通信運搬費
使用料・賃借料	414	研修機材及び研修会場の借上料
合計	2,039	

#### 決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
介護職員が安全な医行為（喀痰吸引等）を実施できるための研修体制を整備するため、実地研修を実施できる指導看護師を養成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H23)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
① 喀痰吸引を行う介護職員を養成するための指導者養成研修受講者数	0人 (H23)	618人 (R2.9)	658人	698人	698人	88.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回の開催を中止した。 (第2回の開催は検討中)
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	介護職員による医行為（喀痰吸引等）は介護サービス利用者からのニーズがあり、それを安全に行うための研修体制を整備することの必要性は高い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	指導者養成研修を通じて指導看護師を育成したことにより、介護職員が安全な医行為を実施できるための研修体制が整備された。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	令和2年度は実施することができなかった。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 すべての介護保険施設等において喀痰吸引等の実地研修が実施できる指導看護師を養成する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き指導者養成研修を実施し、喀痰吸引等の実地研修が実施できる指導看護師を養成していく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	